

令和7年度 第4回 犬居小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2026年2月2日（月） 13時55分から16時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立犬居小学校 多目的ルーム
- 3 出席委員 渡辺 新五、小林 優太、酒井 まち子、山下 尚美
- 4 欠席委員 中 隆弘、栗田 幸尚、山下 光之
- 5 オブザーバー 花嶋 徳光（人権擁護委員）
- 6 学校支援コーディネーター 前田 浩子、岡田 久世
- 7 学 校 堀田 洋一（校長）、米山 香奈（教頭）、石川 雄飛（教務主任）
山崎 淳子（CSディレクター）
- 8 傍聴者 1人
- 9 会議録作成者 学校支援コーディネーター 岡田 久世
- 10 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、第1回と同様、会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 令和7年度学校評価、子供たちの様子について
- (2) 学校運営協議会の自己評価について
- (3) 令和8年度学校運営の基本方針について
- (4) いじめ防止等のための基本的な方針について

12 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度学校評価、子供たちの様子について

議長の指示により、教務主任から資料を用いて説明があった。委員からは授業参観を踏まえ、以下の発言があった。

- ・子供たちが落ち着いている。1年間での成長を感じる。特に低学年は著しく成長していると思う。（酒井委員）
- ・一人一人が意欲的に授業に取り組んでいる。タブレットを低学年から積極的に使っていて驚いた。先生がじっくりと子供たちと向き合っていた。少人数の中で丁寧に学習が進められている。学校評価で課題に出された読書活動について、自分も読み聞かせボランティアを行っているので、読書がもっと好きになるように考えたいと思う。文を読み解いていくことが社会でも求められている。好きな作品に出会えるようになるといい。（山下尚委員）

→保護者（PTA）と学校が協力し、「読書キャンペーン」に取り組むといいのではないか。（渡辺会長）

- ・みんな、あいさつをしてくれたところが素晴らしいと感じた。プログラミングの学習

も興味深い、自分の子供にも様子を聞いてみたい。(小林委員)

- ・先生も児童も和気あいあいとした雰囲気があった。ICTの活用が進んでいてすごい。私自身も砂川小で複式学級を経験したが、先生との関係が近かった。犬居小との統合後、学年に80人もいて、「先生が遠く感じるようになった」という思い出がある。小規模校のよさを生かしてほしい。(花嶋オブザーバー)
- ・5年生の社会では、4人が一人ずつそれぞれの課題を追求していた。先生の支援が大変だと思うが、事前の準備が素晴らしいと思った。学校評価の結果から、保護者も協力してくれていると感じるが、なかなか家庭では本に向き合うのは難しいようにも感じる。(渡辺会長)

(2) 学校運営協議会自己評価について

事前にまとめた資料についての説明を受け、委員からは主に評価項目4「来年度の目標」について以下の発言があった。

- ・来年度も引き続き「春野ドリームプロジェクト」「子供たちのよりよい学校生活」ため支援していきたいという意見があり、有り難い。(教頭)
- 令和8年は犬居小60周年になるが、児童数の減少が激しい。60年前は、子供が家庭でも役割があり、「共存・共助」の気持ちも強く、地域でみんなが協力していた。学校・先生が存在が大きく、有り難いと感じていた時代だった。以前のように学校のある有り難さ、子供がいてくれる有り難さを改めて感じ、みんなが自然と協力できる地域になるとよいと思う。子供がいない地域(自治会)は、学校への関心が低くなる。(酒井委員)
- もっと子供と学校のために、みんなに動いてもらうためにどうすればよいのか。自治会長も近くに子供がいないと学校に対し何をしてよいかわからないと思う。もっと学校の様子を見に来てもらうことができるといい。地域にはいろいろな人材がいるのに何をしてよいか分からない。(渡辺会長)
- 特技がある人だけでなく、誰もが気軽に学校に来られるようになればと思う。観劇教室等の機会を生かしたい。図書室の地域開放ができると、子供たちとの触れ合いもできると思う。(酒井委員)
- ボランティアで来られると、自分が学校に通っていた頃の話等で盛り上がる。特別なことでなくても、学校に関われる機会を作れるとよい。(山下尚委員)
- 自分自身、地域の方と触れ合うことが少なかったが、学校支援CDを務めるようになって、「地域の方にもっと学校に来てもらいたい」という欲が出てきた。「学校に来る機会」を増やすことが大切だと感じる。(前田学校支援CD)

(3) 令和8年度学校運営の基本方針について

校長が学校運営の基本方針について、グランドデザイン(案)、パワーポイントを使って説明をした。また、教務主任が令和8年度年間計画について補足した。

- ・第2回学校運営協議会の熟議を受けて、「かしこい子」「たくましい子」の目指す姿、取組の重点を変更した。新たな法律により、「業務量管理・健康確保措置」について

学校運営の基本方針の中で今後は必ず触れていくことになる。本校では、「働き方改革」ということで、今年度も触れている。(校長)

- ・気候の変動に配慮し、行事日程の変更を行った。(教務主任)
 - いろいろ悩まれて計画されているように感じる。修学旅行が地域の祭典と近いとのことだが、参加者数の減少から、太鼓の練習等も個人練習になっているので大丈夫だと思う。(山下尚委員)
 - 小さい学校としては、行事が少し多いように感じる。登校の見守りの際、子供たちの様子を見たり、声を聞いたりするが、児童数も更に減り、「子供たちも大変」なのかなとも感じる。持久走記録会を授業の中で行っている学校もある。(酒井委員)
 - 持久走記録会は、「地域の中で子供が活動する」ということにも意義を感じている。ふれあい公園で行うことで地域の方にも元気を与えられるのでは。(校長)
 - 街の中を走れば、人はいるが、「ふれあい公園」では地域の人あまり来られないと思う。参観会を祖父母を含め、対象を広げることにはできないか。(渡辺会長)
 - 6月に学校公開日がある。来年度は60周年ということもあり、回覧で地域にも知らせていきたい。(校長)
 - 回覧だけでは参観者を増やすのは難しいと思う。「子供からの直筆の手紙」というのは効果があると思う。(酒井委員)
 - 回覧の内容、方法を検討したい。(校長)
- 協議の結果、全員異議なく令和8年度学校運営の基本方針を承認した。

(4) いじめ防止等のための基本方針について

教頭がいじめ防止等のための基本方針について、今年度の取組と来年度に向けての方向性について説明した。

- ・認知数は昨年度に比べ減少した。重大事態に該当する件はなかった。今後も未然防止早期発見に努める。(教頭)
- ・学校評価からも、児童数の減少や児童数一人の学年について、心配する保護者の声が聞かれる。来年度の学級編成についてはどのように考えているか？(渡辺会長)
- 学級(複式)編成については、人間関係づくりの視点でも、一人学級とならないよう構想している。(校長)

13 その他、連絡事項等

(1) 夢育やらまいかCS加算分について

教頭より、第1回で提出された意見書の通り使用した旨の報告があった。

(2) 第3期学校運営協議会について

今年度で第2期が終了、第3期の第1回は令和8年4月24日(金)に開催する旨の報告があった。

(3) 学校行事の予定について

授業参観、6年生を送る会、卒業式等の日程、R8入学式は、入学予定児童が0人のため、実施されない計画であることが伝えられた。